

【はじめに】



今日、わが国においては、経済のグローバル化をはじめ、地域間競争の激化、少子高齢化の進行、地球環境問題、情報化の進展などにより、産業構造やこれを取り巻く社会・経済環境が大きく変化しています。

本市は、豊富な地下水や豊かな自然に恵まれ、東京・名古屋という大都市圏の中間地点に位置するという立地優位性を背景に、県内有数の工業都市として、パルプ・紙、輸送用機械、化学工業、電気機械など多様なモノづくり産業が集積してきました。しかしながら、近年では、本市におきましても、産業の空洞化の進展や長期の景気低迷などが影響し、工業都市のバロメーターともいえる製造品出荷額等の減少に歯止めがかからない状況となっております。

そこで、本市の工業活性化に向けた産業振興策を体系的計画的に推進していくため、「富士市工業振興ビジョン」を策定いたしました。平成18年度からスタートする行財政運営の指針である第四次富士市総合計画の後期計画と整合性を持たせる中で、「元気あふれるモノづくりのまち富士」の基本目標のもと、市民、企業、行政がともに歩み、本市の工業が更なる発展を遂げることをめざし、事業を進めてまいります。

本ビジョンの推進にあたっては、その実現に積極的に努めてまいります。産業界のみならず、市民の皆様の意欲的な取り組みと連携が不可欠となりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本ビジョンの策定にあたり、ご尽力を賜りました富士市工業振興ビジョン策定委員会委員各位、アンケート調査やヒアリング調査を通じて貴重なご意見、ご提言をいただきました事業者の皆様、並びにパブリックコメントを通じて貴重なご意見をいただきました市民の皆様にご心よりお礼申し上げます。

平成18年3月

富士市長 鈴木 尚